

Dr.わーだ一の養生記

vol.45

「マスク」

ここちいいん 心臓病医院 院長 和田 豊郁



英語の mask は『おい隠す』。昭和の時代にマスクと言えば覆面レスラーの他には炭鉱の防塵マスクや給食マスク。防塵マスクは有害な粉塵を吸い込まないように。給食マスクは着けている人の唾液やくしゃみが飛び散らないように。2類感染症の結核は隔離病棟。菌が空気中にただよって感染を起こすため、咳の出る患者さんにはマスクをしてもらいます。本人の療養のために装着しているわけではありません。私は研修医の時に結核病棟に不整脈の診療に行っていました。毎日新しいサージカルマスクをビシッと装着していましたが翌年ツベルクリン反応は強陽性になりました。うつらないようにとマスクを着けていても病原体が漂っていたらうつるリスクがあるのです。コロナ感染症は咳などの症状が出る前日から人にうつすそうです。明日発症するかもしれないリスクは誰にでもあります。人がいるところではマスクをしましょう。そして大声を出さないことです。マスクをしていても。

■ 心臓病医院(ここちいいん)

久留米市日吉町14-68 / TEL.0942-65-5129

診療時間:〈月～土〉9:00～12:00、〈月火・木金〉19:00～22:00

休診日:日祝・盆・年末年始